

NANIWA 9 号

ミステリーツアーはどこへ連れていくのか？

徐々に明かされる行き先は…

到着先はブーイングのY。Y想はついたぞ！RはRAは知らないだ。

最近いろいろなうわさが流れています。前向きなのはひとつもありません。ただ、私たちは、論議と他損保で行われた攻撃を検証しながら論議して闘いを進めています。安全にかつ一步一步確実に進んでいます。また、隊列を崩さず全員が意思統一の中団結しています。この戦いもだんだん世間にも浸透させていきます。

さてさて、このミステリーツアーにRAは真っ黒の行き先知れずのバスに毒饅頭を70個から持たされて乗り込みました。食べるごとに手足はしびれ、とうとう到着先もわからぬまま苦しんでいます。しかし、どうやら乗り換えの港に着きました。そこには3隻の船が待っていました。代理店船、内勤転進船、全損保船です。さあ、貴方はどれに乗りますか？

代理店船…とにかくこれしかないを進められて乗ったら、船底の使用人席だったり、予想外のことばかり。他に乗り換えもできない指定券だった。その上、2007年抜本的改革になれば砲撃を食らって沈むことは約束された船。内勤船…従業員と思えばステータスも、やっとな安定できる。と、思いきや従業員でなく、有期雇用の特定・特命社員？定年制でないし、1年持たない仕打ちとして多分人事考課が加味されるのでしょうか。それでは、船を下りて勉強しなおしてからIP船に乗り換えてくれと言われるし、恣意的に烙印押されてしまうということでしょう。全損保船は大砲の弾を込めるのを手伝ってくださいというのだろう。だから現在の組合員は持ち場持ち場をこなしています。

身分を変えることが一番危険です。社員なら訴訟、不当配転など組合が個人攻撃を組合運動で跳ね返すこともできます。

特社から正社になった時の喜びと、あの苦しさを思い出したら今のことも理解できるはずです。あの時身分の違いを一番感じたはずです。もう一軒一軒飛び込むのではなく一人ひとりの勇気があれば自分も家族も守れます。

ひとりみんなのためにみんなはひとりのために

全損保日勤外勤支部大阪分会